

# 新潟大学農学部におけるインターンシップの事例

## ●授業科目名: 学科インターンシップ(2単位)

(農業生産科学科・応用生物化学科)

## ●実習先企業等: 新潟市食育・花育センター

## ●実習場所: 新潟市中央区いくとぴあ食花

## ●参加対象者: 新潟大学農学部学部3年生

食育2チーム6名 花育1チーム3名

## ●実習期間: 8～9月

## ●実習日数: 2週間(実質10日)



PBL課題発表

### <取組の概要>

PBL課題解決型インターンシップ受け入れ先、食育・花育センターからの課題解決に向かって、学生が主体的・自主的に学習して取り組みます。インターンシップ終了一か月後に、課題に対する提案を行います。インターンシップ通して、企画提案力、プレゼン能力、コミュニケーション能力など就業力を高める可能性を広げます。

### 事業所での就業体験→PBL課題グループワーク→課題解決提案



### <取組の具体的な内容>

PBLインターンシップを通して、社会で必要とされる社会人基礎力の向上を図ります。前半は受け入れ先の体験プログラム応援に取組、後半は事業所の課題解決に向かって学生視点での体験プログラムを企画運営。学生チームが主体的・自主的に学習して取り組み、チームで纏めた提案を、一か月後に事業所で提案プレゼンをしています。

#### PBL課題「新しい体験プログラム企画提案」

- 第1週 ○施設概要の紹介と見学。体験プログラムの紹介。  
○職員と一緒に一般市民・小学生の体験学習プログラム・イベントの支援。
- 第2週 ○職員と一緒に一般市民・小学生の体験学習プログラム・イベントの支援。  
○最終日に学生主体の企画イベント運営  
学生自ら計画した体験プログラムの検証 実証トライアル
- 1月後 ○PBL課題提案  
学生チームで1月間かけてグループワーク。提案資料の纏め。  
食育・花育センター体験プログラムの企画提案を事業所で発表。

# 新潟大学農学部におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：森林環境インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：越後松之山「森の学校」キョロロ
- 実習場所：新潟県十日町市松之山
- 参加対象者：新潟大学農学部学部3年生  
森林コース1チーム
- 実習期間：8～9月
- 実習日数：2週間(実質10日)



PBL課題発表

## <取組の概要>

PBL課題解決型インターンシップ受け入れ先の、「森の学校」キョロロからの課題解決に向かって、学生が主体的・自主的に学習して取り組みます。インターンシップ終了1か月後に、課題に対する提案を行います。インターンシップ通して、企画提案力、プレゼン能力、コミュニケーション能力など就業力を高める可能性を広げます。

## 事業所での就業体験→PBL課題グループワーク→課題解決提案



## <取組の具体的な内容>

参加体験型の拠点施設で、受け入れ先の体験プログラム応援に取組、事業所の課題解決に向かって学生視点での体験プログラムを企画提案。学生チームが主体的・自主的に学習して取り組み、チームで纏めた提案を、1か月後に事業所で提案プレゼンをしています。

PBL課題は、【地域活性企画提案】里山の生き物・自然・伝統文化などのお宝を探し、そのお宝を地域活性化、教育体験活動などへ幅広く活用を企画提案する。

第1週 ○施設概要の紹介と見学。体験プログラムの紹介。

○職員と一緒に一般市民・小学生の体験学習プログラム・イベントの支援。

第2週 ○職員と一緒に一般市民・小学生の体験学習プログラム・イベントの支援。

○PBL課題の企画立案 関係者からの企画へのアドバイスをいただく。

1月後 ○PBL課題提案

学生チームで1月間かけてグループワーク。提案資料の纏め。

体験プログラムの企画提案を事業所で発表。

# 新潟工科大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:職業実習(2単位)
- 実習先企業等:製造業
- 実習場所:新潟県内
- 参加対象者:工学部3年生
- 実習期間:8月 ●実習日数:10日間

## <取組の概要>

夏期休暇中に、大学の紹介企業又は自己開拓の企業へ出向き実習する。実社会のものづくりの現場に触れ、大学で学ぶ工学知識との関連を知るとともに、今後の学習の方向性を認識することを目的として行う。さらに、社会人との仕事を通しての関わりによって、人間力(挑戦力、創造力、コミュニケーション力)の重要性を学ぶ。



学内企業ガイダンス



ガイダンス



学内報告会

## <取組の具体的な内容> ※製造業

- 製品開発から製品出荷までの一連の流れを実習。
- 実際の製品開発に使用されているCADの演習。
- 製品の分解組立。
- 取り扱いマニュアルの作成。
- 性能試験。

実習に向けて、2年次の後期から3年生(先輩学生)の学内報告会の聴講や、学内企業ガイダンスに参加し、3年次の前期に実習企業の選定を行い、志望理由・実習を通して学びたいことを整理する。また、ビジネスマナーガイダンスに参加し、一定のビジネススキルを身に付け実習に出向く。実習終了後には実習日誌の提出と、後期に学内報告会を実施し振り返りを行い、単位認定している。

# 新潟工科大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:職業実習(PBL型)(2単位)
- 実習先企業等:株式会社テック長沢
- 実習場所:新潟県柏崎市
- 参加対象者:工学部3年生
- 実習期間:8月 ●実習日数:2週間(実働10日間)

## <取組の概要>

PBL(課題解決型)インターンシップを行い、改善の勉強会を通して、工場内の課題を見つけてチームで議論し、それを解決するための「道具」を製作する。



実習の様子

## <取組の具体的な内容>

- 参加4名を2グループに分けて、2名グループで実施。  
(※本学学生3名、他大学学生1名)
- 実習内容
  - ①5S及び、コスト構造の簡単な勉強を実施。
  - ②社内を上記の視点で、各メンバーが巡回。
  - ③5S問題点から、各グループが解決する課題を選考し、プレゼンを行う。
  - ④改善担当者の指導を受けながら、改善道具の作成。
  - ⑤制作物を現場に取り付ける。⇒成果と取組みの報告会。
- 実習前後の学習は通常の職業実習と同様。

# 新潟青陵大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリアデザインⅢ(1単位)
- 実習先企業等: 下本町商店街(フレッシュ本町)
- 実習場所: 新潟県新潟市中央区
- 参加対象者: 看護福祉心理学部福祉心理学科1年生・2年生
- 実習期間: 9月1日～9月18日 ●実習日数: 13日

## <取組の概要> : 名称「地域ミッションインターンシップ1」

地元商店街を舞台に学生自身が課題を発見、改善提案、実行、振り返りというPDCAを実施。ミッションは地域商店街の活性化。個の力を高め、様々な業界で活躍できる人材を育成する。



## <取組の具体的な内容>

第1ステップとして、学生は担当するエリアの個店にヒアリングを実施。当初は思うように進まないヒアリングに悩みながらも、課題を見つける作業を行う。第2ステップでは、ヒアリング結果を基に学生間で課題解決に向けた検討を行い、学生自身で改善提案・実施出来る内容を絞り込み、店主への改善提案プレゼンを行う。第3ステップでは、承諾を得られた提案について協働して実施を進めるが、結果はさまざま形となる。第4ステップでは振り返りを行う中で、さらなる改善提案を準備し、実行を行うことを繰り返し、自身で課題を見つけ、分析し、実践を行うフローを繰り返す中で社会人として必要な基礎力として個の力を育成している。

個の力を養成した学生は、レベルアップのため次年度「地域ミッションインターンシップ2」に参加し、リーダーシップ養成を進めることになる。

# 新潟青陵大学短期大学部におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：地域ミッションインターンシップ°(1単位)
- 実習先企業等：古町商店街(5番町～7番町)
- 実習場所：新潟県新潟市中央区
- 参加対象者：人間総合学科 1年生
- 実習期間：8月31日～9月18日 ●実習日数：14日

## <取組の概要>：名称「地域ミッションインターンシップ°1」

地元商店街を舞台に学生自身が課題を発見、改善提案、実行、振り返りというPDCAを実施。ミッションは地域商店街の活性化。個の力を高め、様々な業界で活躍できる人材を育成する。



## <取組の具体的な内容>

第1ステップとして、学生は担当するエリアの個店にヒアリングを実施。当初は思うように進まないヒアリングに悩みながらも、課題を見つける作業を行う。第2ステップでは、ヒアリング結果を基に学生間で課題解決に向けた検討を行い、学生自身で改善提案・実施出来る内容を絞り込み、店主への改善提案プレゼンを行う。第3ステップでは、承諾を得られた提案について協働して実施を進めるが、結果はさまざま形となる。第4ステップでは振り返りを行う中で、さらなる改善提案を準備し、実行を行うことを繰り返し、自身で課題を見つけ、分析し、実践を行うフローを繰り返す中で社会人として必要な基礎力として個の力を育成している。

最終日には地域の方々への報告会を実施し、活動への評価を頂き次回への活動の参考としている。

# ものづくり大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップA(8単位)
- 実習先企業等：株式会社ユニテックギア
- 実習場所：埼玉県北本市
- 参加対象者：製造学科3年生
- 実習期間：6月～8月
- 実習日数：40日

## <取組の概要>

製造業全般について、企業等の生産現場で実務を経験し、ものづくりの様々な様態や定石を知って、工夫する力、創造力を涵養する。

## 組立ラインの部品棚改善



改善前



改善後

## <取組の具体的な内容>

「産業界のニーズに対応した教育・改善・充実体制整備事業」で取り組んでいるPBL型インターンシップの一つとして産業機械、工作機械などに使われる歯車の生産や車両に使われる減速機の組立等を行っている企業で40日間のインターンシップを実施した。

- ・1週目～3週目 製造部にて加工機を用い、歯車の加工
- ・4週目～6週目 技術部にて歯車の寸法測定や品質検査
- ・6週目から、PBLインターンシップとして組立ラインの部品棚の改善にも取り組み、①看板設置、②ケースの設置③全体整理を行い、作業の効率および外観の向上を図った。

# ものづくり大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:基礎インターンシップ(8単位)
- 実習先企業等:岡建工事株式会社
- 実習場所:東京都墨田区
- 参加対象者:建設学科2年生
- 実習期間:6月～8月
- 実習日数:40日

## <取組の概要>

建設業および関連業の様々な様態を知り、建設現場の実務の流れ、段取り、工程計画、品質管理、安全管理などの基本事項を習得し、今後、自分が果たしうる役割を考える。

## 建設現場での施工管理業務の様子(右から2人目)



工事現場での品質管理



工事事務所における品質の再確認

## <取組の具体的な内容>

本インターンシップでは、ゼネコンの建設現場における施工管理の方法と内容の実際について取り上げ、どのように施工計画および施工管理を行い、建築主への建物の引き渡しが行われているのか等を明らかにすることを目的として実施した。

- ・1週目～2週目 会社および工事現場事務所にて安全管理教育
- ・3週目～4週目 仮設計画、基準墨出しから逃げ墨出しの方法
- ・5週目～6週目 品質管理、小墨出しとサッシ等製品取付位置確認
- ・7週目～8週目 墨出しの内容のまとめ、品質管理検査表の確認

本インターンシップでは、ゼネコンにおける施工管理の方法を明らかにし、その内容を提示することができた。

# 茨城キリスト教大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ I（2単位）
- 実習先企業等：茨城放送
- 実習場所：茨城県水戸市
- 参加対象者：2～4学年、文学部2～4年生
- 実習期間：9月      ●実習日数：10日

## <取組の概要>

情報発信能力の養成を重視している学科の特性にあわせ、その実践の場としてのマスコミの仕事全般を地元のラジオ放送局の協力を得て学生に体験させる。



## <取組の具体的な内容>

### 茨城放送

放送局の仕事の全体的な説明の後、スタジオ放送、中継レポート、報道取材、番組編成、資料室業務などを行う。

インターンシップに先立って授業担当者と企業担当者間の打ち合わせ、挨拶を兼ねて企業指導者と学生の事前準備を行う。インターンシップ中、学生は毎日所定のフォーマットで日誌をつけ、企業の指導者からも適宜文書でのコメントを記入していただいている。

# 茨城大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:プロジェクト実習D(2単位)
- 実習先企業等:水戸市役所
- 実習場所:茨城県水戸市
- 参加対象者:全学部 2~4年生
- 実習期間:4月~2月 ●実習日数:通年(1~5日)

## <取組の概要>

官公庁・企業等から戴いた課題に、1年間を通じて取り組み、年度末に報告会を開催する。その間、主として夏期休業中に1日~5日程度を目安に、フルタイム勤務を行うPBL型インターンシップである

### 1: 中間報告会 (学内)

水戸市役所職員からの  
質問に答える



### 2: フルタイム勤務 (水戸市役所)

実地調査を踏まえて  
対応策を検討する



### 3: 街中での活動

(水戸まちなかフェスティバル)

[左手]改良版時刻表案を記したポール[後方]落書きバス



## <取組の具体的な内容>

水戸市役所には2チームを受け入れて戴いた。ここでは「公共交通チーム」を取り上げる。

公共交通チームは、4月に市役所側から「鉄道・バス等公共交通の利用向上」という大掴みな課題をご呈示戴き、学生達が種々検討の上で5月に「市内バスの利用率向上に向けた、時刻表の改善」というプロジェクトに絞り込んだ。5~7月は、水戸市役所の担当者と緊密に情報交換をしつつ、現状の問題点抽出や改良原案の策定を進めた。学内で開催された7月末の中間報告会には市役所からも6名の職員がご参加下さり、シビアな指摘や有益なアドバイスを戴いた。8月には、水戸市役所地域振興課で1名当たり2日・延べ10日間のフルタイム勤務を経験させて戴き、課員と共に赤字路線の実地調査・利用促進チラシの作成等の業務に当たった。以上を踏まえて作成した3種類の「改良版時刻表(案)」を、9月に水戸市中心市街地で開催された「水戸まちなかフェスティバル」に展示し、来訪者への説明とアンケートを実施した。10月の中間報告会ではアンケートの分析結果ならびに学園祭での活動計画を報告し、ここでも市役所担当者他から種々アドバイスを戴いた。11月の学園祭での発表・アンケートの追加実施を経て、現在、1月末の最終活動報告会の準備を進めている。

従来型のインターンシップが、予備知識が殆ど無いままいきなり職場に入り、「体験」以上の活動が難しいのに対し、プロジェクト実習D(PBL型インターンシップ)は、担当者と密接に連携しつつ課題に取り組んできた実績を踏まえてのフルタイム勤務であるので、短期間でも実のある活動ができ、その後更に半年間続く取り組みにも効果的であると、受け入れ先・学生両方から好評を博している。

# 共栄大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：国内インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：春日部市役所
- 実習場所：埼玉県春日部市
- 参加対象者：国際経営学部3年生
- 実習期間：8月～9月
- 実習日数：10日

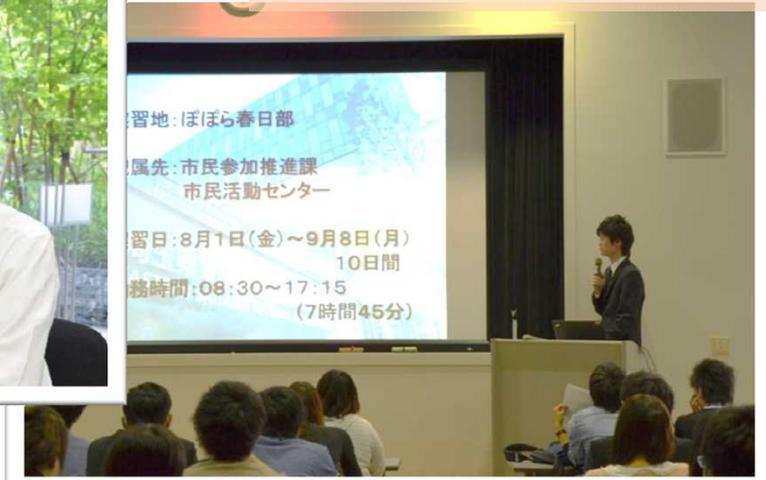
## <取組の概要>

就業意識の向上及び春日部市政に対する理解の促進を図ることを目的としている。将来、公的機関に就職を希望する学生が参加し、実際の現場での様々な業務を体験することでモチベーションを高めていく。



実習の様子（春日部市役所）

## インターンシップ報告会の様子



## <取組の具体的な内容>

- (1)「平成25年度春日部市市民活動センター実績報告書」の集計作業を体験する。
- (2)地域ボランティア活動団体の方々へのヒアリング、インタビュー等を行い、春日部市職員と打ち合わせを重ねながら、市民活動センターの広報誌「ぽぽらだより」に掲載する地域ボランティア団体インタビュー記事の原稿作成を体験する。
- (3)この実務体験を通して、様々な方々と接することにより、社会人としてのマナーや立ち居振る舞い、コミュニケーションの大切さを学ぶ。
- (4)実習後、国際経営学部2年生全員を対象とした学内インターンシップ報告会に参加し、パワーポイントを使って発表する。体験を通じた学生自身の学びや後輩へのアドバイスを伝えることで、2年生がキャリアについて考えるきっかけとなることを目指す。

# 敬愛大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:インターンシップ(企業実習) 2単位
- 実習先企業等:ジェフユナイテッド株式会社(ジェフユナイテッド市原・千葉)
- 実習場所:千葉県千葉市中央区
- 参加対象者:3年生(経済学部・経済学科/経営学科)
- 実習日:8/9(土)、8/10(日)、8/11(月)、9/11(木)、10/5(日)
- 実習日数:5日間(尚、8/11~9/11間は学生主体による課題解決検討を5回実施)

## <取組の概要>

スポーツをビジネスモデルとした企業のインターンシップを通じ、イベント当日(10/5)、多くの地域住民の方々に来場していただくという課題解決に向かって、学生が主体的に活動・学習に取り組めます。インターンシップを通じ、企画提案力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などの社会人基礎力の向上を図ります。



企画検討会議



企画プレゼンテーション

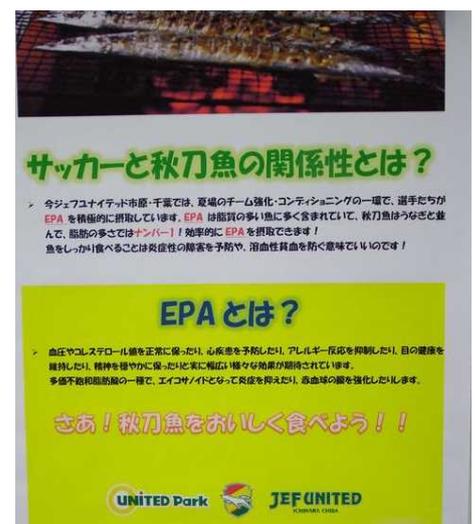
## <取組の具体的内容>

ジェフユナイテッド市原・千葉は、試合興業のみならず地域社会への貢献活動に励んでいるJリーグクラブです。そこで、スポーツをビジネスモデルとした企業運営の体験を通じ、企業収益性向上のひとつである集客力を如何にあげるか(ユナパ祭\*)という課題に取り組む、学生視点での企画提案を行います。

\*ユナパ祭:年一回開催のファン感謝イベント

## <インターンシップ実習の内容>

- 8/9(土) オリエンテーション、企業概要の講義
- 8/10(日) ホームゲームにおける運営スタッフ業務の体験
- 8/11(月) 運営実習に向けたイベント企画の講義と企画検討(9/11までに、検討会議を5回実施)
- 9/11(木) 企画検討結果のプレゼンテーションと講評(企画案の承認可否)
- 10/5(日) イベント運営



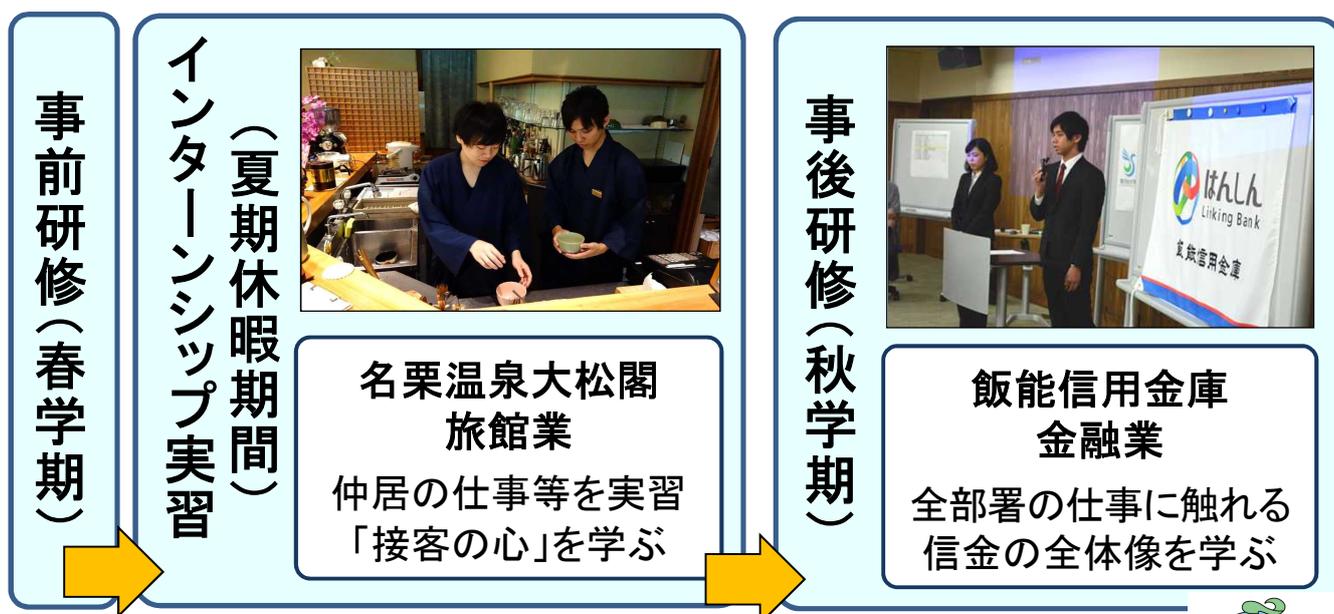
ユナパ祭ポスター

# 駿河台大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ I (4単位)
- 実習先企業等：飯能信用金庫、名栗温泉大松閣
- 実習場所：埼玉県飯能市
- 参加対象者：全学部2年生以上
- 実習期間：8月
- 実習日数：約2週間

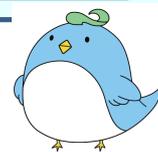
## <取組の概要>

「地域インターンシップ」として、本学の地元、飯能市の飯能信用金庫、名栗温泉大松閣で、夏期休暇中に約2週間の実習を行います。また、事前研修・事後研修を行い、「学び」の質を高めています。



## <取組の具体的な内容>

- 【事前研修】(春学期)心構え、マナーなど、実習への準備  
外部企業団体による「仕事」についての講義(6回)の他、マナー講座等、各種指導を11回行います。
- 【実習】(夏期休暇期間)自覚をもって社会の一員として働く経験  
2週間程度の実習。
- 【事後研修】(秋学期)「経験」を言葉にし、「自分の経験」とする  
実習報告書(担当教員が添削指導)を提出し、2回の事前指導の後に  
報告会で発表します。
- 【ポートフォリオSCIP】ポートフォリオを作成し、成長を確認します。



# 植草学園短期大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：該当なし
- 実習先企業等：社会福祉法人翠昴会障害者施設永幸苑
- 実習場所：千葉県四街道市
- 参加対象者：福祉学科 地域介護福祉専攻 2年生
- 実習期間：8月
- 実習日数：2日

## <取組の概要>

障害者施設に実習後、学生自らが実習先への就職を希望。施設もインターンシップの受け入れを歓迎しており、体験後就職内定に結びついた。



## <取組の具体的な内容>

施設の重度身体・知的障害者の支援を実習で経験後、納涼会で利用者の知的・身体重複障害者と一緒に買い物をしたり、食事介助や食事作りを行った。また、車椅子の利用者と近くの公園まで同行支援しコミュニケーションを図るなどのインターンシップを経験した。障害の有無に関係なく、むしろ利用者から学ぶことが多かったとの感想を持ち、就職への意欲が高まり、その結果就職内定に結びついた。

# 聖学院大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップⅡ（実習）（2単位）
- 実習先企業等：情報・賑わい発信ステーションあびっと！
- 実習場所：埼玉県上尾市
- 参加対象者：全学部3年生
- 実習期間：8月～9月
- 実習日数：10日

## <取組の概要>

インターンシップを希望する学生は、「インターンシップⅠ（事前学習）」を履修し、単位認定された学生が「インターンシップⅡ（実習）」受講の権利を有します。「インターンシップⅡ」は①10日間の実習、②報告書提出、③報告会での発表を以って単位認定されます。職場体験型が殆どでしたが、今期からはPBL型も導入しました。履修生に解決すべき課題を与え、その問題解決のためにグループで取り組ませる、企画実行型を実施しました。



学内での制作作業



完成したグルメ冊子

## <取組の具体的な内容>

上尾市の情報発信基地である「あびっと！」(NPO法人AGETTO)と協働して、駅周辺グルメ冊子作成の本企画がスタートしました。

◆形式上「あびっと！」から学生への業務委託という形を採り、ヴァーチャルな会社組織を作り、参加学生夫々が各部署に所属しました。請負金額から、費用まで計算し最終損益まで自覚させるような仕組みを採りました。

◆内容の企画、掲載店舗へのアポ取り等、参加学生が全ての工程を行い、仕事をする上で協力することの大切さを体感することができました。

本プログラムを通して、コミュニケーション力の大切さ、数字に対する関する感覚を実感させることができ、予期した以上の成果が挙げられたと考えます。

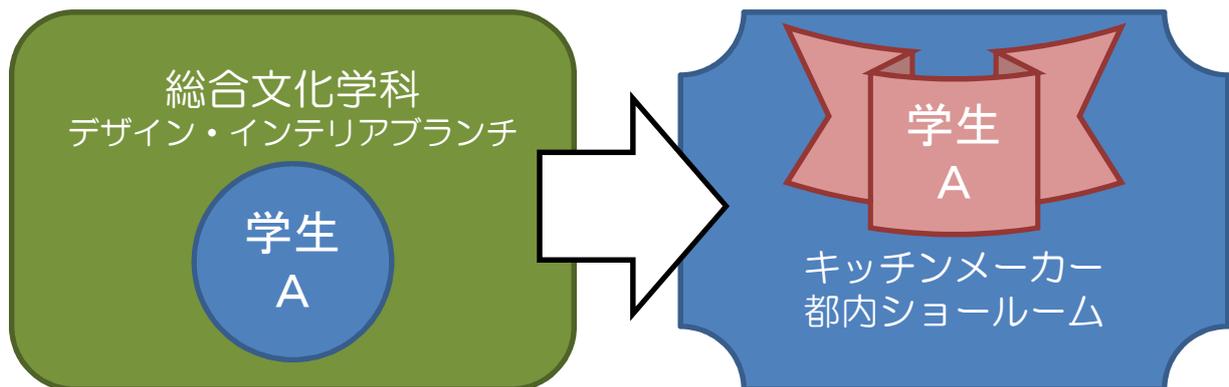
## 聖徳大学短期大学部におけるインターンシップの事例

- 授業科目名 : インターンシップ (1単位)
- 実習先企業等 : キッチンメーカー 都内ショールーム
- 実習場所 : 東京都内
- 参加対象者 : 短期大学部1年生
- 実習期間 : 8月 ●実習日数 : 9日

### <取組の概要>

本取組みは聖徳大学短期大学部総合文化学科デザインランチの学生の専攻分野にかかる課題探求を、実践現場でのインターンシップを通しての体験を交えて行うものである。

**インターンシップでの経験が学生を急成長させる！**



ディスプレイ、デモンストレーション、接客体験、制作課題のプレゼンなど新鮮な刺激を多く受け、明らかに変化した学生がそこにいる。

### <取組の具体的な内容>

会社概要と企業説明、会社見学、ショールーム見学、デモンストレーション実践、接客体験、当該メーカー製品による調理実習、「自分の理想のキッチン」を課題としたプレゼンテーションなどを受入れ企業側のインターンシッププログラムに沿って実施。貴重な体験とその中での自身の専攻ランチでの課題探求等、有益なインターンシップを実施した。

また、総合文化学科図書館ランチの学生は、大学図書館においてインターンシップを行い、そこでの館務実習を通して課題探求を行っている。

## 西武文理大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップⅡ（2単位）
- 実習先企業等：株式会社ボン
- 実習場所：埼玉県さいたま市
- 参加対象者：サービス経営学部3年生
- 実習期間：8月～9月      ●実習日数：5日間

### <取組の概要>

前期15回の授業を経て2週間以上（2箇所以上の合計でも可）の企業研修を行う。組織の中で働くということ、会社はどのように運営されているかを知ること等に取り組み、事後に研修レポートを提出。



### <取組の具体的な内容>

サービス経営学部ではホテルや旅行会社等、ホスピタリティ産業を中心に、幅広い実習先企業様、施設様のご協力のもと、「実技習得型」や「営業型」の実習機会をいただいております。

この写真の学生はスポーツインストラクターとしての活動経験から、美容・健康業界での実習を希望していました。学内でのマッチングが難しかったため、埼玉県経営者協会の「埼玉県大学生インターンシップ推進事業」を通じて県内企業のご紹介をいただきました。

実習では「営業店舗での接客の実習、補助、施術補助」に、5日間、携わらせて頂きました。学生は①施術に関する知識習得、②接客技術の向上、③店舗運営を知ることの3点を重要なテーマとして取り組みましたが、実習を通じ、職務の専門知識に加え、朝礼の意義や自ら聞く姿勢の大切さなど多くの発見を得て、志望を美容・健康業界に絞りました（埼玉県主催報告会にパネリストとして登壇）。

# 千葉科学大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名： 企業等体験実習
- 実習先企業等： 銚子警察署
- 実習場所： 千葉県内
- 参加対象者： 危機管理学部 3年次生
- 実習期間： 平成26年8月18日（月）～8月22日（金）
- 実習日数： 5日間

## <取組の概要>

実際の警察署の様子や業務の内容を見ることで警察官業務の理解促進と治安維持の重要性の理解促進を目的として実施した。道路標識点検や移動交番体験、防犯キャンペーンや護身術、犯人逮捕術なども取り入れて実施している。



千葉県警察学校にて鑑識体験



千葉県警察本部の見学



銚子警察署にて術科体験

## <取組の具体的な内容>

- ・警察組織の概要について
- ・移動交通勤務及び啓発活動
- ・交通標識点検
- ・パトロール、巡回連絡
- ・千葉県警察本部の見学
- ・千葉県警察学校の見学及び鑑識体験
- ・鑑識犬訓練の見学
- ・銚子駅前交番にて立番体験
- ・サイバー犯罪の概要について
- ・被害者対策の概要について
- ・術科体験
- ・意見交換会



屋外での啓発活動

# 千葉商科大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等: 市川市役所
- 実習場所: 千葉県市川市
- 参加対象者: 商経学部・政策情報学部 3年生
- 実習期間: 8月
- 実習日数: 5日

## <取組の概要>

インターンシップ研修を通じて社会人基礎力の養成を行い、また、市役所への研修に参加することで、地域が抱えている諸問題にも目を向けさせ、自発性を高め視野を広げる。



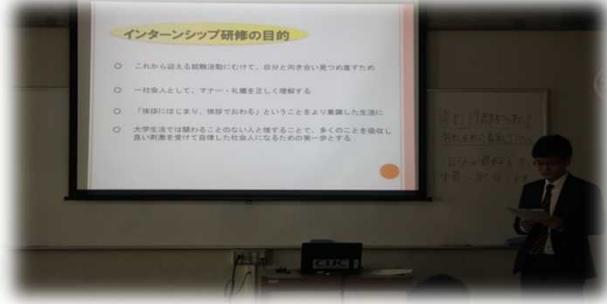
インターンシップ講義1



インターンシップ講義2



インターンシップ集合研修



インターンシップ報告会

## <取組の具体的な内容>

市川市役所のインターンシップ研修では、複数の部門にて学生各自が公務員の仕事を体験し、普段の学生生活では得難い体験や地域が抱えている諸問題等に触れることで、多くの気づきを得ています。

## <国際交流課での研修内容>

- 1日目: 市役所業務、国際交流課業務の説明、用務(資料作成等)
- 2日目: 中国樂山市青少年代表団受入業務随行、表敬訪問、市内視察
- 3日目: 国際交流課用務、イチメールやさしい日本語の基礎学習制作  
外国人相談窓口の見学
- 4日目: 中国樂山市青少年代表団受入業務随行、市内視察、  
～ バーベキュー準備等、都内視察、送別会準備、空港での見送り
- 6日目

研修終了後には、他の学生との情報共有と研修を通して得ることの出来た成果を再認識させるために、インターンシップ講義にて報告会を実施しています。